

高倉中学校 生徒感想
大変だと思った
震災は、すごくつらいものだなとおもった。これからは、自分たちがほかの知らない人に伝えていく番だと思った。
地震はやっぱりすごく大変だし怖いものだと改めて実感しました
この10年20年の間に大きな地震が起きるかもしれないし、地震に備えて用意をしようと思いました。
とても怖くて悲しい出来事だと感じました。阪神淡路大震災当時は生まれていなかったけど起こった直後などは不安な気持ちでいっぱいだったんだろうなと思いました。
地震を経験したことがあるけれど、気をくになくてでも、改めて聞いて大変さがよくわかりました
震災の怖さとどのぐらいの人が震災によって苦しんでいるかがわかりました
地震の怖さが伝わりました
大地震がいつ来るかわからないので、いつ来ても大丈夫のように日ごろから準備しておきたいです。
地震は語り継ぐべきだということを学んだ
震災の恐ろしさと災害に備えた対策が必要だと感じた
大きな災害に新聞記者のひとの説明が分かりやすく怖くなって伝わってきました
一人でも多くの人が地震で亡くならないでほしいと思った。一人でも多くの人が災害に巻き込まれないでほしいと思った。今まで地震はたくさん起きていたこと
今年起きた能登半島地震は、阪神淡路大震災の被害の状況と似ていて、自分は過去のことだと思っていたけど、それが今の時代に起こっていることが不思議だった。過去のことを忘れずに今後にかかしていくことが、亡くなった人のためにもなると思うので、次の世代に伝えていけるようにしたい。
地震は多くの人がなくなってしまい家をなくすこともあることがわかりました。
災害への備えがとても大切であること。
写真を見ていたらとても悲しくなってきた。
地震がいつ来てもいいように準備しておくこと
どんなにつらい状況でも人々は団結しあってるんだなと思いました
地震はすごく怖いなと感じました。阪神淡路大震災を体験された方以外にも神戸の中学生や高校生がそのことを伝えていっているのがすごいなと感じました。地震で親族の方をなくした方はさらにつらいだろうと思いました。
自分の誕生日と阪神淡路大震災が同じ日で、やっぱり大変だったということももちろん伝わったし、これからも自信が起きた時の対策を怠らないようにしたいと思います。
今回、神戸新聞の人が、南海トラフ巨大地震が絶対に来ると、言っていて、僕は今石川県の能登半島地震以上のものが来ると思いました。今からでもいいから、備えるのが大切だと思いました。
地震の怖さや、被害について方々がどれだけ大変だったか学びました

今石川で地震が起こっている中この授業が行われていて、ニュースで見っていたようなことが神戸でも起きていたと考えると恐ろしくて少し鳥肌が立ちます。今後もいつ地震が起きるかも分からないし南海トラフも、もうすぐ来るなど毎日毎日を大切に生きようと思います。

地震は絶対になくならないものなので、対策をして命を守ろうと思います。

これまでも震災のことはたくさん聞いてきたのですが、今回の能登半島での地震で、実際に揺れを感じたり、両親の被災経験を聞く機会も増え、そういった時の参考になるなと感じました。

これからも震災のことを忘れずに気を付けて過ごしていきたいと思いました。ありがとうございました。

今まであまり阪神淡路大震災のことを知らなかったので震災のこわさや人が亡くなる悲しさを今回の震災学習で深く学びました。そして震災に対しての対策をしようと思いました。

もし震災があったらのことを考えて今後生きていこうと思いました。

昨日までであった普段の日常がなくなるととても怖いなと思いました。

震災関連死という存在があることも今日初めて知ったので学べてよかったです

まだ生まれてから、地震を体験したことがなくて、身近なものと思ってなかったけどいつでも起こりうることだから今までに起きてしまった地震で何人も亡くなってしまったのをもとにしっかり対策をしようと思いました。

阪神・淡路大震災はうまれていないときに起きて、想像しにくいけれど今年能登半島で起こった地震のニュースを見てすごく大変なことだと実感しました。今後、いつ地震が起こるかわからないのでいつ起きても無事避難できるように準備しないといけないと思った。

29年前の神戸のみなさんに元気を与えるために記者たちは明るい未来を見れるように考えていたことを感じた。

私はこれまでに都市に大きな被害が及ぶ震災というものを経験したことがありません。

だから他人事のように感じている部分が多くあります。だけど、震災を乗り越え神戸を立て直し今その恐怖、そして大切なことを語り継いでくれる方がいるからこそ、今私たちの街があるんだなと実感しました。

地震はちゃんと経験したことはないけどどれだけ大変だったか分かりました

震災に合わなかった僕たちは幸せ

避難の用意をしておきたい

避難出来たら、絶対に助かるというのはなくて、その後も、津波や火事、生きていくために必要な物資がなくなる。病気。などのいろんな大変なことがあると、この授業でしっかり学びました。南海トラフに備えて、防災グッズを多詰めることにしようと思います

震災のことを新聞に取り上げるとき、「生きる」という見出しを作っていたことが印象に残った。私だったら亡くなった人の数や震災後の状況を見出しにしようと思う。けどそういうマイナーなことよりも、前向きで聞いていて嫌な気持ちにならない、協力しながら生きているということを伝えてくれるほうが、震災後の生活を乗り切ろう、早く復興させよう、という思いが強くなったんじゃないかなと感じた。

僕は、阪神大震災の日には生まれてなかったけど、今日の震災学習の話を聞いてとても苦しかったんだろなあと思いながら聞いていて、次に能登半島に地震が起きて僕はその時紅白歌合戦を見ていたから急にこのニュースが流れてきて驚いてとてもびっくりしました。これからもじしんについて調べていきたいと思います。

新年の初めにおこってしまった地震。僕自身、阪神淡路大震災を経験したわけではないけれど、今日の震災学習を通して、このただ普通の日常を当たり前のように過ごしている幸せありがたさを改めて痛感しました。もしかしたら、今日や明日にここで震災がおこってしまうかもしれない。震災をこの目で見ないといけないかもしれない。

だから今ある日常が一番の幸せであるということ意識しこの日常を意味のある日常にしないといけないと思いました。

普段から対策をすることが大事だということが改めて分かりました。

人によっては、人の不幸を利用して有名になろうとしたりしているけど、自分にもいつ起こるか分からないことだから、他人事だと思わないことが大切だと思いました。

能登半島地震が起きたっばかりで、初めて地震についてリアルに想像しながら話を聞きました。

もし地震が急に起きてもいいように、過去の震災を思い出して準備していくことが大切なんだと感じました。

私の家には祖父母がいるので南海トラフ地震がきたら、どうなるのかなと感じた

実際に体験した人の気持ちを考えて話すことが大切だと思った。

南海トラフ巨大地震は10、20年の中で起こる可能性が高いと聞いたとき、とても不安になりました。能登半島地震が南海トラフ巨大地震の予兆かもしれないと聞いたので、対策をしっかりしっかりしたいです。

地震を経験したことがなくて、たくさんの方々がなくなるようなものが地震だと思っていたので、今回の震災学習を通して、より恐ろしさを知り、忘れていけないという気持ちをもっと高まりました。大震災が起こった時の募金活動や復興の対応もはやくて、これから私もできることから対策したいと思いました。

震災の時はみんなが力を合わせる大切だと思った。

震災で亡くなった人のことを思ってこれからも生活します

今年の石川県の地震も阪神淡路大震災と同じくらい被害を受けていることが分かった。

自分自身はまだ経験したことはないけど、住んでいる町が同じ被害にあっていたので私が出来る募金などしたいと思いました。

混乱の中でもみんなのために仕事ができることがすごいと思った。

地震はとてもおそろしいなと思いました。

震災はいつ来るかわからないから前もって準備することが大切だと思った

地震は凄い規模で起こってすごく大変だと思いました。

私は今年初めて地震を経験しました。29年前にも同じようなことがあったと思うと本当にびっくりします。当時の状況を今回教えてもらい、絶対に忘れてはいけないことだと改めて思いました。

今のように神戸の街が復興したのは、たくさんの方の支えがあったからだと思うので自分もできることを探していきたいです。

<p>たった数分の揺れで数万人の命を奪った自然の恐ろしさを改めて知ったし、自分も行ったことや見たことのある今ではきれいになっている街並みが地震発生時には完全に崩壊していたのを見てとても驚いた。</p>
<p>生きてる中でまだ自信にあったことがないけどこの映像をみてとても怖いということがわかりました</p>
<p>写真を見てるだけで怖かったです。</p>
<p>阪神淡路大震災がこのようにヤバいことだと知った</p>
<p>地震に備えるために家族と待ち合わせ場所を決めるとか防災リュックを準備するなどすぐにできることがたくさんあったのでやらないといけないと改めて感じました。これから何十年以内に南海トラフ巨大地震がある可能性が高いのでその時のために今備えられることは備えようと思いました</p>
<p>地震の恐ろしさをあらためて実感しました。</p>
<p>自然災害はいつくるかわからないけど、くるまえに防災リュックとか家の家具の固定とかをしようと思つて改めた。自然災害だから止めたりできないけど、被害が最小限になるように努力しようと思つた。</p>
<p>海岸沿いが危ない</p>
<p>震災は怖いけど、対策をすることで少しでも被害を抑えられるから、対策を取りたい。</p>
<p>震災を体験した記者の話聞くのははじめてだった。京都新聞と協力したのは知っていました。だけど記者さんが取材をとおして感じたことなどを知れたのは勉強になった</p>
<p>阪神淡路大震災の話聞いて、震災を身近に感じたので、もしもの時のためにリュックを準備しようと思つた</p>
<p>阪神淡路大震災など大きな地震は知っていることが多かったけど、あまり知らない地震でもたくさんの方が亡くなったことが分かった。</p>
<p>震災の過酷さや辛さを改めて知ることができました。</p>
<p>石川県の地震で、今、私たち一人一人ができることを考えていきたいと思つた。</p>
<p>今生きていることへの感謝の気持ちを大切に、一日一日を大切にすごしていきたいです。</p>
<p>揺れている時も怖いけどその後の生活もいつ終わるかわからなくて精神的にきつくなると考えたら怖いと思つた</p>
<p>新聞を作るのが、災害の現場だと難しくなるので、大変だなと思つた。新聞が安心になると聞いて、なるほどと感じました</p>
<p>震災の怖さが改めて知った</p>
<p>地震が実際に起こってしまったらパニックになってしまうと思うので、その不安を少しでも取り除くために、色々な準備をしていきたいと思つた。</p>
<p>今日の震災学習で防災バッグとかすぐにできそうな対策を知ることができたので親とかと今できることをしておきたいと思つた</p>

私は今まで大きな地震を経験したことがないし、震災の話聞いても、あまり想像ができなくて大変だったということしかわからなかったけど、この間能登半島で大きな地震があって、神戸は震度3くらいしか揺れなかったのに、それでも怖いと思いました。もっと大きな被害があった地域の人は、これよりもっと大きな揺れを体感していて、家が壊れたり、家族や友達が行方不明、もしくは亡くなってしまった人もいるんだなと思うと、震災の怖さが前よりもずっとよく理解できました。私たちの住む地域で災害が起こる可能性はいつでもあるので、ちゃんと災害の怖さや必要な備えを知って、いざ災害が起きたという時、安全に避難できるようにしたいと思いました。

地震の恐ろしさについてよくわかりました。数十年後に起こるといわれている南海トラフ地震に備えてどのような対策、準備をしなければいけないかがわかりました。

記者という立場に立って実際に感じたことつらかったことを話してくださって毎日、正確で分かりやすい記事をかいてくれる記者さんたちに本当に感謝しなければいけないなと感じました。

新聞を書くとき、読者を励ますために被害報道よりも安心報道を大切にしたいという話が、意外と気が付かなくて、なるほどと思い印象に残りました。当時、みんなが前を向こうと頑張っていたことが感じられました。

私たちは、震災を経験していませんが、被災した人の中でも震災から29年経とうとしている今、やっと話そうと思える人も出るわけなので、そのような話をたくさん聞き続け、亡くなった方や、経験を無駄にしないように、南海トラフ地震に備えること・活かすこと、次の世代に語り継ぐことが私たちにできる事なのでないかと感じました。

今回の学習で学んだことを地震が起きた時にいかしてみたいと思いました。

そして、地震がとても恐ろしいことだということが改めて思いました。

私はまだ阪神淡路大震災のような大きな震災に巻き込まれたことはないけど、今回のような実際に体験された人の話を聞くと、今までよりも注意しなくちゃいけないという警戒心ともに自分が震災に巻き込まれたら怖いという恐怖心が出てきました。今日のことを通して、避難場所を決めたり、避難グッズを揃えたりしたいです。

地震は怖いと思いました

改めて震災はつらいことだと学び、忘れてはいけないことだと感じた

自然災害は、防ぐことができないので、日頃から災害への対策をすることが大切だと思いました。

地震と言う災害が怖いと思っていたけど、今回の震災学習でもっときよつけようと思いました。

僕は震災を経験したことがないのでいざとなったときに地域の人と協力できるようにしたいです。

地震は怖い

大きな地震によっては都市が壊滅するほどになってしまうことがあることが分かった。

たくさんの方が亡くなって、とても悲しくなりました。私の父と母も小学生の頃に被災をしているので、阪神淡路大震災の辛さは聞いたことがあります。三好さんの言葉の、「毎日を大切に」を心がけて日々の日常を過ごそうと思いました。

すべての窓ガラスが割れるほど地震の揺れがひどいから本当に安全な場所はないと思いました。
地震が落ち着いた後も病気などにならないように気お付けないといけないことがわかりました。
これから南海トラフを経験することは知っているから自分は避難リュックをつくっている日々の生活を大切にしようと思った
こんなにも、怖い地震が遭ったと知れたら、地震はいつあってもおかしくないです。
やっぱり怖いけれど備えておくと家族みんな生きられるから普段から備えておきたい
南海トラフもいつきてもおかしくないことを強く感じた。その分自分が地震と身近に生きていることも感じたので地震がいつきても安全に避難ができるように家族としっかり話しておくことが大切だなと思いました。
石川県のみなさんは今とても大変だけど自分に関係ないと思いき生活するのではなくしっかり頭に入れながら生活したいです。
震災の大変さとか、震災で亡くなってしまった人がたくさんいたり、町を復活させるためにたくさんの方が支えあって元の街に元通りになってて凄いなと思いました。ニュースとか見ても、元の生活に戻りたいって言う子とかもいるからその分普通の生活ができていことに感謝しようと思いました
震災は絶対に忘れないように今後の人にも話を引き継いで油断しないようにすることが大切ということ学びました。
大きな災害があったことを忘れずに語り継ぐことが大切だと感じた。また能登半島地震で被災した人のことも思って生活したい。
震災の経験をしたことがないけど、イメージをしてみるともっと怖く感じました。だから、大切な話なのでしっかり学びました。
大きな地震を実際に経験したことがないけど、もしも自身が起きた時のために準備しておくことは大切だなと思った。
過去に起こった地震の被害や、阪神淡路大震災についてなど、地震の怖さや恐ろしさを学んだ。
地震はくりかえしおこる。だからこそ備えを怠らず、自分で自分を守る行動をとらなければならないことを知った。
阪神淡路大震災は、地震はまだ来ないと油断して亡くなった人も多いと聞いたことがあったので、地震を油断しないで、対策をすることが大切だと思いました。
能登半島の地震で亡くなってしまったり、けがをしてしまったりする人が1人でも減ればよいなと思いました。
災害はいつ来るかもわからないし、備えていても想像よりはるかに上回る災害が来るかもしれないだから災害に対しての備えはゴールはないのでそろそろ備えを頑張りたい
改めて地震のことを深く知ることができました。阪神・淡路大震災のお話をされていた際にはその時の細かな状況を画像で見ることができ、実際の具体的な被害を聞けたと思います。

震災の恐ろしさどれだけの人の心を傷つけたのか改めて思いました

元日に起こった石川県の地震もどのテレビを観ても津波についてのことをやっけていてニュースキャスターの人の「津波から早く逃げてくださいテレビを消さずもう早く逃げてください！」という言葉がとても胸に刺さりました。知り合いが金沢に住んでいて温泉にはいいっている時だったようで混乱したとっていました。このようなことがもうおこらないことを願います。

こういう地震の学習で、建物が倒れるぐらいの揺れは震度7以上だと思っていたけれど震度7未満のところでも崩れることがあるのを知って自身は怖いなと思いました

阪神淡路大震災でたくさんの被害が出てしまったことを忘れずに語り継ぎたいと思いました。震災が起こる前の夜の話、震災で助かったがそのあとに後遺症で死んでしまった人の話が特に印象に残りました。

今日震災のお話を聞いて、新聞の記事を載せるときなどは死んでしまった方が何人とか、被害がどんなものとか悲しいニュースもたくさんあるけど、被災してしまった方に安心も与えるために温かいニュースや前向きなニュースを報じていたことを知りました。今自分に人のためにできることは何か考えて、自分のできることを1つずつやっていけたらいいなと思いました

石川県の地震も最近あったことから自然災害を身近に感じました。私は、地震後の写真を見たりすることや経験した人の話くらいで、実際に経験しないと生活の大変さや心の痛みも分かりませんが、でも、こういう機会や、ニュースを見て地震のことについて知ったりすることで、他人事とは思わず理解出来るのかなと思いました。

今日の学習をして今後地震が来た時に生かしたいと思いました

地震によってたくさんの命が奪われたりたくさんのものがなくなったりするけれど、だからと言ってあきらめてはいけなくて、自分たちから幸せというものを作るのが大事だなと思った。

改めて震災がどれだけ人にとって大変なことなのか振り返り考えることができました

阪神淡路大震災ということを私たちよりも若い世代に語り継いだり歌い継いでいくことの大切さを実感した。地震は自然災害だからいつどこで起きるかもわからないからそのことを知って日ごろから備えておくことが大事だ学びました。

最近能登半島地震が発生したのもあって、身近に感じた。実際に体験したことがないけれど震災に備えるのと震災を知ることは出来ると思うのでやっていきたい。

地震の苦しさを語り継ぐこと、忘れないこと、それに備えることの大切さを知りました。地震は一回あったから終わりではなく、自然災害は終わることのないので次に備えてどう行動していくのかを考えながら生活をしていきたいと思いました。これからは備えることのできることは備えていきたいです。

自分は体験していない震災の話聞くことで将来必ず起こりうるであろう南海トラフに対して見方が変わってきて今からできる対策など家族で話し合うのが大切になってくるなと思った。

今回の授業を通して学んだことを生かし自分自身の命を守る行動をとれるようにしていきたいです
震災にゴールはないという言葉でこれからも語り継いでいくことが大切という思いが伝わった
阪神淡路大震災の「淡路」という言葉をつける理由は阪神だけでなく淡路島の人々にも被害があったということを伝えるためだということが分かった
何回も学んでいるけど、それだけ大きな地震で、経験している人は頭から離れない出来事だった
んだということも学びました。自分はどれだけ怖かったのかわからないですが、地震が起きた時に自分はどうできるか考えたいと思います。
今回の能登半島地震と29年前の阪神淡路大震災は同じような状況だということが分かった。地震では揺れだけでなく津波、火事がおきてどれだけ準備していても足りないものだと分かった。
私は今までで一度も大きな地震にあったことがなく実感することはできないけれど、今回の学習を通して、令和6年能登半島地震のニュースを通して少し実感がわきました。今後20年以内に起こるといわれている南海トラフ巨大地震はいつ起こるかわからないので備えておきたいと思いました。
阪神淡路大震災と能登半島地震での災害を比較してみると似ている所がたくさんあり震災は私たちにとって嫌な災害となっていて地震が来たらすぐに身を守り避難する事がいっこくも大切という事が分かりました。
今回の震災学習では、能登半島地震と阪神淡路大震災について聴いた。阪神淡路大震災で多くの人が苦しみを体験していて、現在進行形で起きている能登半島地震でも同じことが起きていて、どうにか防げないのだろうかと思った。
いつ地震が起こるかわからないから非常バッグなどの準備も備えていけないなと思いました。
また避難訓練もまじめにしないと地震が起きたらどんな行動を行えばならないのかをしっかりと考えていきたいと思いました。
地震は人の命を奪ってしまうかなしいことだと感じた。新聞社の人たちは地震があった日も毎日新聞を発行していてすごいなと思った。
地震はいつ起こるのか分からないのでとても怖いなと思いました
震災でたくさんの人たちがなくなってしまうのでとても悲しい気持ちになった
今回の能登での地震が起きて、改めて身近に起こりうる災害の恐怖を感じました。そして、今まで災害が起きてもこうして復興していたり、現地でも協力しあったり新聞で現状を伝えている人たちがいて、本当にすごいことだと感じた。また、この講演でおっしゃっていたように、災害はいつ起こるかわからないけれど事前に備えておくことはできるから、しっかり準備して、いざというときにも協力して行動できる人になりたいと思った。

改めて今回の震災学習で震災で多くの被害があり、多くの人が苦しんだことを知り、このような出来事を忘れてはいけないと思った。これから大人になるとともに次が自分たちが語り継いでいかなければならないことを学んだ。また、これからくるであろう南海トラフ巨大地震に備えることの教訓にしていきたいと思った。

震災学習には終わりがなくて同じことを繰り返し替えさないと、常に備えておかないといけないことが分かりました。

お話と映像でその光景が目に見えるようでした。自然災害は急にやってくるので完全に備えることは無理だけれど、いつかのために災害への知識や準備など、出来ることをしておこうと思いました。

今回の震災学習で、年明けすぐにあった地震のことや阪神淡路大震災のこの話をいろいろ聞いてどのくらい人がなくなってしまったのかや、当時どんな感じで揺れたかを詳しく話して下さって二度とこんなことが起きてはならないし、もし起こってしまっても周りをよく見て行動しようと思いました。

震災学習で、阪神淡路大震災が起こったことで当時の人たちにどんな影響を与えたのか知ることが出来ました。地震というものは、人々の当たり前だった生活を一瞬で壊してしまう恐ろしいことということを再認識できました。私もこれから当たりの毎日をただ当たり前に過ごすのではなく、生きれているありがたみを感じながら生きていきたいと思いました。

震災が多くの人を悲しくさせて大きな被害を出すことを学んだ

今で阪神淡路大震災を語り継ぎ減災していくと言っていたが能登半島地震で関西圏にしか語り継いでいなかったと思う。

今年の初め、正月から大きな震災が発生し、自分はその時に阪神淡路大震災のようだなと感じた。これから起こるといわれている南海トラフ巨大地震も、事前の準備や警戒を怠らないようにしたい。

震災の影響で崩れた建物や、燃えている家、陥没した地面などの写真を見て、いろいろな話を聞くことは大切ですが、体験したくないことだなと改めて思いました。これからも、地震でどんなことが起こったか忘れず、危機感を持っておこうと思いました。

実際に震度七の地震が来たらやばいなと思いました

災害は何年も続くので、災害への備えは限度がないことを学んだ。このことから、自分の家でも見落としているところがあるかをしっかり確認して備えていきたい。

2024'1'1にあった石川県の地震も昔の阪神淡路大震災も怖いものだあなと思った

けど生きてる限りこのようなことは起こるかもしれないけど、起こってほしくない和学习して再び怖いと感じました。

今回の震災学習を通して、私の家や私の周りの家は木造建築の家が多くて震災が起こったとき家が全壊、半壊してしまったり火の手の周りも早いと思います。震災が起こった時いち早く非難できるように日頃から近所の人とコミュニケーションをとって交流を深めていこうと思いました。

<p>今回の学習で、自分の震災に対する考えを深めることができたと感じました。1月1日に起きてしまった能登地震と阪神淡路大震災の映像を見ていると、「自分だけは助かる」という考えは、本当にだめなんだなと感じました。この機会を生かし、もしも地震が起きてしまったら、ということを家族と話しておきたいです</p>
<p>震災当時都市としての機能が止まっていた神戸に希望を持ちここまで復興してきた人達はほんとに凄いと思う</p>
<p>震災などの災害は改めて忘れてはいけないことだと思った今は伝えられる側だけど、自分たちが大人になっても伝えたらいいなと思った</p>
<p>震災で亡くなった方々などの気持ちを深く考える時間があって深刻な状態でみんなは生きようと頑張っていたんだなあと伝わってきました</p>
<p>29年前にあったことを経験していないけど教えてもらってこれから大切にすることがよく分かった。</p>
<p>身近に起こった震災のことを改めて怖さや復興にかかった時間の大変さが伝わった</p>
<p>能登半島や阪神淡路大震災の地震の写真を見て、もし自分が被災地にいたら、本当に自分や周りの人の命が危険にさらされるのだなと改めて実感した。南海トラフ地震もあり、いつ自分に地震の被害がやってくるか分からないので、覚悟と対策を始めていきたいと思った。</p>
<p>自然が歯をむくことだってあるんだなと思いました。この地震のせいで誰かが苦しんだりしてそれをまた助ける人がいるのはとてもいいと思いました。</p>
<p>実際に震災にあった場所にいた事はないけど、今回の授業や能登半島地震できた地震（震度1）っを知ったり体験したりして怖いと感じました。また、何もない状況だからこそ協力が必要不可欠だということを学びました。</p>
<p>震災に終わりではなくて、いつ何が起きてもいいように対策を取っておくことが大切だということが分かった。</p>
<p>私は体験していないけど色々と学んできて地震の怖さ・恐ろしさは身に染みて理解しました</p>
<p>震災学習では、地震の悲惨さや人々の気持ちというのを少しだけ理解したと思う。</p>
<p>さらに今回の講座の前と後で「しあわせ運べるように」への思いが変わった気がする。より心にしみる思いだ。</p>
<p>地震はとても恐ろしい</p>
<p>災害は準備していたら防げること</p>
<p>講演の最初に阪神淡路大震災と能登半島地震の火事、津波、倒壊した家屋などの写真をそれぞれ並べてみたとき、本当にどちらもそっくりで、「阪神淡路のことがどうして伝わらなかったのかな」という言葉がとても沁みました南海トラフに向けて、日ごろから備えをしっかりとしようと感じました</p>
<p>地震が起こったときに何を持っていけばいいかがわかりました。</p>

<p>29年前の阪神淡路大震災で話の今日の教訓を胸にして明日来るかもしれない南海トラフ巨大地震に日頃から備えていきたい。</p>
<p>地震の怖さや周りとの協力が大切ということ。</p>
<p>備えが大切</p>
<p>震災を経験した人からの話をきいて能登半島地震が自分の生きてる時に起きていまの石川県は阪神淡路大震災のようだとわかって改めて地震の怖さをした。実際身近な人がなくなったときいてそういうことが起きないように災害への対策をもっと真剣にやるべきとおもった。自分はこれから災害の訓練をもっと本番を想定してやりたい。</p>
<p>まず地震のことは絶対に忘れてはいけななと思いました。なぜなら、何の罪もなくなくなった人々が報われないし忘れたらまた同じことの繰り返しになってしまうからです。</p>
<p>あるところで震災が発生して、その時の避難や行動の失敗が何回も繰り返されていること。1回の大震災の教訓が全国に行きわたっていないことが悲しくなりました。また、震災を経験していない自分たちが伝えていくことが同じ失敗を少しでも減らせることにつながると思いました。</p>
<p>阪神淡路大震災と能登半島地震はとても似ているなと感じた。そこから地震は繰り返されるものなんだなと感じた。なのでこれからいつどのような地震が起こるかわからないけれど今日地震が起きても大丈夫と思えるくらい地震に備えたいです。</p>
<p>震災はいつ起こるかも分からないので、日頃の備えや家族と話し合うことが大切なんだなと感じました。</p>
<p>10～20年のうち大地震が来るから備えをしないといけない。能登半島地震と阪神淡路大震災は似ている</p>
<p>今普通の生活できていることに感謝していこうと思った。</p>
<p>自分の住んでいる神戸の町で起こった震災について、より理解を深めて自分たちは経験していなくても、これからの震災に備えるためにも忘れずに伝えていくことが大切と分かった。</p>
<p>ニュースでは聞けないような話や被災地がどのようになっているかなどのが聞いて現場に行ってみないとわからないこととかが知れてよかった。</p>
<p>震災はとても怖くいつ来るか分からないものなので事前の備えは大切だなと思った。</p>
<p>地震はいつ起きてもおかしくなくもし起きた時のために備えをしておくこと。</p>
<p>震災が起きたら地震そのもととその後の衛生面まで気かけなくてははいけない</p>
<p>本当に大変なものだと写真とともに分かった。</p>
<p>一番大切なのは自分の命である。これからは災害について真剣に考える必要がある。</p>
<p>いつ地震が発生してもおかしくないので、日ごろからもっと対策をしておきたい。</p>

<p>具体的には防災バックを準備、自分でできる範囲での自宅の安全点検を行っていきたい。</p>
<p>地震はいつ起こるかわからないので、まだ、防災グッズなどを用意しようと思いました。</p>
<p>また、学んだことは72時間の壁です。72時間も家に人がおしつぶされていたら、なくなる可能性が高くなることを学びました。</p>
<p>今回の能登半島地震では、阪神・淡路大震災での教訓が生かされておらずたくさんの方が犠牲になってしまっているということ。阪神・淡路大震災での被災者の方は早く助けてほしいと思っていたら、市は災害に強い市にしたいという思いがあって、どちらも間違っていないと思うけどやはり、被災者の方を優先するべきだと思った。災害は繰り返されるし、南海トラフ巨大地震は必ず私たちの生きている間に起こる、明日起こるかもしれないので防災・減災の方法を考えていかなければいけないし理解しなければいけない。</p>
<p>震災の恐ろしさについて再認識させられた。南海トラフほぼ確実に起こるから対策したり、起こった時に最善の行動ができるようにしたい。また、フェイクニュースには気を付けるようにしたいと思った。</p>
<p>今年の1月1日に29年前と同じ事が起こってしまった。半島ということですぐに支援物資が届かなかったり救助できない状態だった。支援物資も少ない中協力することも大切だと思った。中には大切な人を失ってしまった人もいるけれどそれを受け入れ前に進むことも大切だと感じました。</p>
<p>震災によりたくさんの方が命を失われ、震災は止めることはできないのでこれ以上の犠牲を出さないために阪神淡路大震災での教訓を最大限に活かしていかないといけない。</p>
<p>阪神淡路大震災を経験したことにより能登半島地震への対策が少しできていたと学べた</p>
<p>震災の時も助け合いが大切だと思った。</p>
<p>震災のことを伝えて未来の防災につなげることが大切だと分かった。</p>
<p>震災がどんだけの被害をもたらすかわかりました。</p>
<p>能登半島地震でも阪神淡路大震災でも、大切な人を失うことがあるからあらかじめ防災リュックなどのできることから対策していく</p>
<p>地震は穏やかな日常をたやすく奪ってしまうものということ。防げないということ。だからこそ備えが大切だと分かった。</p>
<p>地震の恐ろしさが分かって、南海トラフに備えようと思った</p>
<p>写真だけ見ただけでも怖いと感じたから、当時の人々はもっと怖かったらと思う。</p>
<p>命の尊さが分かった</p>
<p>もし自分がその時に生きていたらと思うととても心が痛くなる</p>
<p>震災関連死というものがあるのがわかった</p>
<p>震災はいつ来るかわからないのでそれに備えようと思いました。そしてとても怖いものなんだと思いました。</p>

震災では多くの方が亡くなったり被害にあったりして今の自分の生活が被害にあった人たちは当たり前じゃないということが分かりました。

震災学習は受けていないが、阪神淡路大震災と今ニュースになっている能登半島地震はつながるものがあると考えている。阪神淡路大震災の時は政府の対応や、支援が遅れたりでなかなか復旧するのが遅かったが、今回の能登半島地震では一般の方々の支援や、政府の迅速な対応により、復旧に着実に近づいている。日本は地震大国だが、だからこそ地震への対策、また怒ってしまった時の迅速な対応、支援が大事である。

今回の震災学習で阪神淡路大震災の時の大きな被害を改めて見て地震の怖さを実感しました。

新年早々に起きた能登半島地震では、できる限り被害が少ないことを願います。

災害の恐ろしさや危険さをさらに感じる事ができた。

阪神・淡路大震災と今回の能登半島地震がこんなにも重なるとは思っていなかったから、さらに改めて震災の恐ろしさを学べた。

悲しい

今回の震災学習で改めて学んだことは、時間とともに震災への恐怖が薄れていくので震災の恐怖を伝えていかなければならないことを学んだ。

今回の能登半島地震のことと、同じように阪神・淡路大震災ではマンションが倒れていたりしていたのだと感じた。

地震など火事を一度も経験したことはないけど次世代につなげていくのはとても大事だと思いました地震など経験してない人でも災害が起きた時のために備えをすることが大事だと思いました

今までの災害と最近起きている災害には似ているところがあることを新しく学びました。

まだまだ大きい地震はあるとゆわれているのでミヨシさんもおっしゃっていたが、備えに終わりはないので自分が後悔しないように備えたい

地震の怖さと震災が起きた時の対象を知った

震災は語り継いでいくことが大事だということが分かった。あとは、今起きている能登半島地震で被災した人のことも思って生活していこうと思った。

震災などの自然災害はいつでも起こってもおかしくないもので、このような震災学習を役立て、次の世代にもつなげていきたい。また、亡くなった方々がいることで、この経験を無駄にはしていないと思ったので、震災についての教訓を生かしていきたい。

どんだけ大変さなどがよく感じました

震災学習はこれまで何回も受けているけど、毎回学習をとおして震災の悲しさを感じているので、このような機会を作ってくれる人には感謝するべきだなと思いました震災は戦争のように人のせいでは起こっていないので、防災リュックの中身などを解説してくれてすごくためになりました

能登半島地震では阪神淡路大震災と同じで昔の木造建築が多く火災が起きやすかったんだと思った。
僕は、大きな地震を経験していないけど地震があったときはたくさんの人が協力をして震災を乗り越えてきたということがとても感じて取れました。
震災当時の様子や避難生活で役立つ情報などを知ることができてよかった。今後起きるであろう災害などにも関連付けてニュースや新聞などを見ていく必要があると改めて感じる事ができてよかった。
地震がどのくらい大きな被害が出て危険なものなのかを受け継いでいくことで被害もやらないよりも被害が少なくなって済むのかなと思いました
災害関連死で亡くなる人も多いと知って、避難生活はとても過酷で支援が行き届かないのだなと思った。火事で焼けた土地を見て、戦争の時の空襲で焼け野原になっているのと同じようだと感じた。新聞社の方々なども協力して、安全安心な情報を共有したりしているのを見て、大変な時こそ、冷静に地域の方と協力することが大切なのだと感じた。
もし、地震が起きたら高いところに逃げるのが大事だと思った
震災を体験した世代が今の私達の世代に伝え、次は私達が次の世代に語り継ぐことで震災のことを忘れないようにしたいと思いました。
絶対に安全だとは思わずに、常に備えをしておくことが大切
今みんなと楽しく学校に来れてることに感謝だなと思いました
大きな地震がこれから起きるかもしれないので、習ったことを次に繋げていけるようにしていきたいと思った。
地震の備えにはゴールはないの言葉が心に残りました
沢山の災害が日本で起こっていて、避難所の体育館などは避難してきた人達がいっぱいいて大変なことが起こっていたのを改めて知ることができたので良かったです。
復興するのにとても時間がかかる。けれど復興したらきれいに戻るんだなと思いました。
今回の抗議を聞いて改めて地震の怖さを認識しました。南海トラフ地震も来る可能性もあるので気を付けようと思いました
記者の仕事が大変だということ
阪神淡路大震災はいろんな人の協力や少しでも前向きになってもらうための工夫があったから、もとの神戸に戻ったのかなと思いました。
災害による被害や被害を受けた地域の復興の詳細を知れて良かった
薄れていく震災の記憶が本当に消えてしまわないように、未来に繋いでいく必要があると分かった。
南海トラフ地震が次、やってきたときにどんな行動をすればいいのかを常に考えながら生活していきたいなと思いました。防災リュックの中身も見直しておきたいです。
地震によってたくさん悲しい思いをした人がいることを知った。実際起きたときは、学んだことを生かしたい

<p>災害は起きた時だけではなく、その後の避難所での生活や復興までの時間にも課題があることを学んだ。</p>
<p>災害が起きた時の災害対策を考えておきたいです</p>
<p>震災はいつ来るのかがわからないから、日々震災に向けて備えることが大切だなと改めて感じた。</p>
<p>地震がいつ起きてもおかしくない。近い将来におきるかもしれない。</p>
<p>地震が起きる前に、日ごろから対策を万全にしておきます。</p>
<p>今回の講演で阪神淡路大震災での被害から、対策について詳しく知ることができたので良かったです。能登半島の地震もあったので気を付けたいと思います。</p>
<p>地震は経験したことがないから、実際にはどのくらいひどいものなのかは想像できないけど、講演してくださっていた人が言っていたように備えはとても大事だと思った。地震について考えるきっかけにもなったので良かった。</p>
<p>大きい被害にあいながらも復興のことや、後世につないでいこうという気持ちが伝わった。自分もこのことは後に伝えたいと思った。</p>
<p>地震を経験したことがない人が多いからしっかり伝えていくことが大事だとおもった</p>
<p>震災は地震だけで死ぬのではなく、そのあとの病気やケガなどで亡くなってしまふことを知ってとても驚きました。震災のことを語り継ぐ人が少なくなっていく中僕は次の世代に語り継いでいこうと思いました。</p>
<p>阪神・淡路大震災を実際に体験した方のお話を聞いて良かったです。南海トラフ巨大地震がきて、多大な被害を負わないように防災グッズなどを買おうと思いました。</p>
<p>これまでの起こった自然災害をじっくり見て、死者・負傷者の多さを感じました。いままでの出来事を知っていき、備えていこうと思った。</p>
<p>私たちがまだ生まれていないときに起こったのであまりどんな事態だったのか想像しにくかったけれど、今回の公演を聞いて私たちも後の世代に受け継いでいくことが本当に大切なんだと思いました。</p>
<p>一回一回の震災で学び、次に備えることが大切だということがよくわかりました。</p>
<p>時代が進んでいく中で今経験した人が少なくなっているのでも今回学んだことや今まで学んできたことをこれからの人達に伝えていこうと思いました。また備えにゴールはないと言っていたようにいつ来ても対策できるように日ごろから備えようと思いました。</p>
<p>地震がきて学校に避難して過ごしていると思ったけどビニールハウスでも避難している人がいると知りました</p>
<p>自分たちの住んでいる地域にも災害の被害が過去にあり、それを受けて、自分にできることを改めて考えることができた。</p>
<p>1月1日、能登半島の地震が起こった時、私は家で揺れを感じました。神戸は震度2ぐらいだったのですがそれでも私は大きな揺れに感じました。とても怖かったです。今回の震災学習で、改めて地震の恐ろし</p>
<p>さを知ることができました。いつ起こるか分からない地震に備えて、家の家具の固定や避難場所の確認など家族でよく話し合いたいと思いました。</p>

<p>当たり前の生活がいつなくなってしまうかわからないので地震の備えをしっかりとしていきたいと改めて思いました。</p>
<p>いつ地震が起こるかわからないのでしっかりと対策をしようと思った。</p>
<p>震災の怖さが分かった。</p>
<p>この出来事は絶対に風化させてはいけないからそのために自分も学んだことを話したりできたらいいなと思った。</p>
<p>震災に終わりはないので、震災に備えておこうと思いました</p>
<p>今年起こった能登半島地震も含め、様々な地震の被害を見て聞いてこれから起こりうる様々な災害に向けて、公共団体や個人で大なり小なり様々な対策を行う必要があると改めて感じた。</p>
<p>新聞紙が保温やスリッパにできたりいろいろ役に立つことが分かった。南海トラフはきっと起こるから対策をしていきたいと改めて考えた。</p>
<p>今回の授業を通して地震の怖さを改めて学べたし、もし自分が地震にあったときのために日頃から考えておこうと思いました。</p>
<p>自然の恐ろしさを改めて知ることができました。</p>
<p>地域との協力が大切になると考えました。</p>
<p>能登半島で地震が起こったと知ったとき、もし神戸で起きてたら自分は冷静に行動できるか自信がなかったので地震から学んでしっかりと備えておきたいと思いました。</p>
<p>震災は大変なことだと思った。</p>
<p>神戸新聞が京都新聞と協力して被災者の人に情報伝えていたことを知った</p>
<p>何度も聞いたりしたことはあったけどこうやって、動画などで見るのは少なかったからものすごく大変だったんだろうなと思った。</p>
<p>阪神淡路大震災の当時の状況についてよく知ることができたので良かったです。</p>
<p>いつ起こるかわからない地震へ対策することはとても大切だと感じました。</p>
<p>今能登半島地震で多くの人が危険にさらされ避難生活を強いられているけど神戸がこうして復興できたように石川県の人が笑って生活できるようになるように自分にもできる支援があったらやってみようと思った</p>
<p>最近も能登半島で地震が起こってまたいつ神戸に自信が来るかわからないけどもう一度対策し直す必要があると感じた。今回の講演で「備えにゴールはない」という言葉を聞いて本当にその通りだと感じた。この言葉を大切にしたい</p>
<p>震災を体験した人の話を詳しくはつきりと聞いて、地震が起きた時に気をつけることだったり、後の時代に伝えていかなければならないということなど、改めて再確認できたと思います。</p>
<p>震災は1度あったから終わるものではなくて、これから発生する可能性があるものだから、29年前の阪神淡路大震災や今年起こった石川県能登半島地震の教訓などを無駄にせず、あしたに「語り継ぐ」ことが大切だと思った。</p>

災害はまた自分達がこういうのを次の世代の人たちに伝えていかないといけないと思った。たくさん
の死者が出る災害はしっかり防災していかないといけないと思った。

1月1日に起こった能登半島地震も阪神淡路大震災も被害にあった景色が似ていて、本当に災害が
繰り返されるのだなと思いました。いつ起こるか分からない次の地震に備えてできることはないか
確認しようと思いました。

私たちは体験していないけど過去にはたくさんの人たちが苦しい思いをしてきたと改めて感じた。
南海トラフの被害を少しでも減らすために対策をしたいと思った。

震災学習で感じたことは地震はいつ起きるかわからない災害ということと地震が起きると被害は大
きくなるし怖いと感じる災害ということを感じた。

南海トラフはいつ来てもおかしくなくて、準備や危機感が足りてないんじゃないかと思いました。
一度起きたら死ぬかは運だけど、起きる前に準備できて、少しでも生き残れるようにできるんだっ
たら準備したいと思います。水、食料を買いだめ？したいです

阪神淡路大震災や今回起きた能登半島地震は冬に起きて、寒い中避難していたり、家族や知り合い
がなくなったりすることはとてもつらいことだと思いました。地震はいつ起こるかわからないので
避難場所や持って出るものの確認をしようと思いました。

最近起きた能登半島地震の被害状況などを見てたった一瞬揺れただけでここまで被害を出してしま
う地震は恐ろしいなと思った。もう南海トラフ地震まですぐだと言われているからもう一度自分の
家の災害に対する準備を見直す必要があるなと考えた。

日ごろから地震に備えておくことが大切だと感じた。今までに自身は体験したことがないのでわか
らないことが多いけど積極的に学ぶことが大切だと思った

昔と違って今は今の問題があることを知りました。地震は自然災害なので、止めることは不可能だ
けどいつ起きてもいいように避難経路と避難場所の確認、避難グッズの準備などの対策を徹底しよ
うと改めて思いなした。

地震は起きて終わりではなく、起きた後も大変なことや悲しいことがたくさんあるだと改めて感じ
ました。起きてからも協力しあっていくことが大切なんだと思ったので地震の備えとかを確認して
おこうと思いました。

今年に入ってすぐ地震が起きて実際にニュースで今の状況とかを見るのが初めてだったのでびっく
りしたのもあったし信じれなかったです。今回の学習を聞いて経験をしてる人の話を聞いて良かっ
たと思います。

私が住んでいる神戸で昔こんなことが起きてどんな被害が出たのかあらためて深く知ることができ
ました。今日の授業を通して震災の被害などを未来に伝えるためには今震災について知っている私
たちが受け継いでいかないといけないと思いました

阪神淡路大震災のとき生まれていないけれど今年しに起こった能登地震の被害を見て他人事ではな
いなど改めて思った

<p>今までの自然災害で沢山の犠牲が出てしまったけど、だからこそ私達は犠牲があったことを忘れることなく真実を伝えていく必要があると改めて感じた。また防災や減災するために必要な知識は今の時代インターネット、新聞、SNS等に多く存在しているためどんどん知って行く積極性が私達には必要だとわかった。最終的には出来る範囲でも被災した人たちの助けになる行動をしていきたいと思う。</p>
<p>経験したことのない震災について詳しく知れてよかった</p>
<p>震災はいつ起こるかわからないからハザードマップなどでいざに備えたいです</p>
<p>地震や火災などの災害のことを聞いて恐ろしいと思いました。</p>
<p>南海トラフ地震もいつ起こるかわからないので、一日一日を大切にしようと思いました。</p>
<p>地震はいつ起こるかわからないので常に備える必要があるということを学んだ</p>
<p>地震自体でも大変なのに、避難所でも感染症などいろいろなことに気を使って過ごさなければいけないことを学んで本当に地震は大変だということを知った</p>
<p>自然災害への備えは絶対に必要で、感染症対策なども避難所でないといけないということ。</p>
<p>自身はいつ来るのかわからないから怖い。そのために、備えようとおもう</p>
<p>地震が起こったのは29年も前のことだけど、能登半島であったようにいつ起こるかわからないものだしいつ起こってもおかしくないのだと再認識できた。</p>
<p>地震を経験していない私たちも、これから伝え続けていくことが大切だと思った。</p>
<p>いつ地震は起こるかわからないから、いつ来ても備えられるように準備していきたい。</p>
<p>私は今の大人の人たちみたいに地震を体験したことがないから詳しいことはわからないけど阪神淡路大震災では6434もの人が亡くなっていたり行方不明になっていたりで悲しくなった</p>
<p>阪神淡路大震災では、新聞社が協力して、地震の悲惨さや強く生きる人々の様子を伝えてくれたことわかった。</p>
<p>阪神淡路大震災の時はまだ生まれていないけれど、自分の住んでいる都市で大きな地震がありたくさんの方が犠牲になったことそして2024年の石川県の地震だったり消して忘れてはいけないのでこれからも深く考えていくべきだと感じました。</p>
<p>いつ起きてもおかしくない地震への対策をしようと思った。</p>
<p>僕たちの世代では大きな地震を体験したことがないためこういった震災学習の機会でも災害の色んなことが改めて分かったので、いい機会になった。また、地震が起こり復興できたという人間の力はすごいと気づきもし地震が起きた時でも避難所で復興のためにも協力していきたい。</p>
<p>震災は防ぐことができないけれど震災が起きたときへの対応はできるので対策をしていくことが大切ということを知った。</p>
<p>いままでにたくさんの災害があって、知らないこともあった。</p>

1995年はすごく昔に思えるけど、1月1日に能登半島で地震があったように、震災はいつでも私たちの身近に潜んでいるものなんだなと思いました。これからは、私たちが震災について伝えられるようにもっと知識を身に着けたいです。

震災は怖くてたくさんのが壊れてしまう

今回の震災学習で今年おこった能登半島地震のことがニュースで少し知るぐらいしかしてなかったので詳しく知れたし阪神淡路大震災の当時の写真とか知らない写真もあったのでとても勉強になりました。

地震だけではなく避難所での感染症やクラシック症候群などで亡くなった人がいることを知って驚いた。できるだけ被害を少なくするために自分にできることをしたいと思った。

一日から能登半島地震もあり、最近自身について考えるようになりました。自身についてよく学び備えたいと思いました

震災はいつ来るかわからないからこそ日々の備えや心構えが本当に必要なのだと思った。

震災の経験を引き継いでいくことで震災を経験したことがない人たちも震災の恐ろしさを知ることができ、日々の備えを徹底しようと心がけることができるのだと思った。

最近地震などが多いので阪神淡路大震災みたいになることがあると思うので災害に備えたい

そして、被害にあっている人がいたのでフェイクニュースなどは信じず本当のことを知りたいと思った

いつ起きるかわからないし、火事が起きたり家が崩れたりするので、備えが大切だと思いました。

悲しいしぼくたちもこんなけいけんするんだなとおもました

大きな震災が起きた日であっても、たくさんの人に神戸のことを伝えるために新聞を発行し続けた神戸新聞局の人は凄いと感じた。これから起きると予測されている南海トラフ巨大地震に向けて、阪神淡路大震災の記録をこれからは受け継いで聞くべきだと感じた。

自分は阪神淡路大震災の時生まれてなくてその時のことは話でしか聞くことがないけど、たくさん地震について知るにつれて人々の大変さや辛さが感じられて地震の恐ろしさを改めて実感しました。

あれが実際にあった出来事だと信じられないくらい神戸は復興して、私たちは震災の後に生まれたけど、その震災は紛れもない事実で絶対に忘れてはいけないと思った。また、今は能登半島地震が起きて、今もたくさんの被害があるということを忘れずに過ごしたいと思った。

震災で亡くなった人を自分の大切な人にあてて考えてみると、本当に胸が苦しかったです。私たちは震災について学び、伝えていく、活かすことが大切だと改めて思いました。

今回のお話を聞いて、改めて、地震の恐ろしさを実感したと共に、今からでも対策はできると思うので対策をしていきたいと思いました。

小学生の時から震災学習で阪神・淡路大震災については知っているつもりだったけれど、今回の授業で初めて知ったこともありました。特に神戸市では四千人以上もの人が亡くなったことが改めて地震の大きさと悲惨さを知りました。

震災学習を通して地震から自分たちの命を守るためには、地震を止めるなどのことは不可能なので今までの地震で被災地の状況を知り、被災地から次の地震に対策すべき事を学び対策するということが大切と思いました。